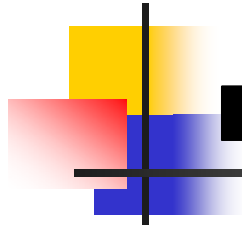


# 安否メール・情報支援サイトによる ソーシャルビジネスの実情

特定非営利活動法人 NPO愛知ネット

---



## ■ NPO愛知ネット団体概要



防災・災害救援団体のNPO法人 設立1999年

事務局:安城市東栄町(名鉄本線 新安城駅前)

組 織:個人会員、企業会員、事務局、理事会、評議委員会

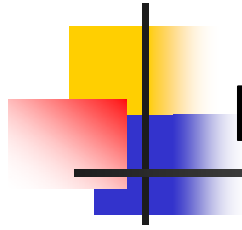
会員数:157名(個人)12社(企業)

理 事:17名(評議委員:7名)

事務局:56名(有給スタッフ) 団体拠点数:5箇所

年間予算:約2億5千万円

現在NPO法人になって11年目今後の10年が大切。



## ■ NPO愛知ネットスローガン



# すべての活動は災害時の情報のために

- ・被災地で学んだことを活かす。
- ・被災者のニーズと救援ボランティアのコーディネート
- ・情報が届きにくい・言葉が通じない人たちへの情報コーディネート
- ・ボランティアをしたい人とボランティアを求める人のコーディネート

今後も被災地で学んだ、コーディネート力と情報発信力を活かし、  
今後は「人と地域」をコーディネートして行きたい。



# 地域防災活動におけるNPOの役割

- 事例 1 自主防災会と**中高生**の事例

孫の世代に、何か教えたいという潜在的な心理  
得意な事で、年配者から褒められる

事例 2 おやじの会と**子供達**

子供を守る防犯意識から、(会社以外の地域の同世代の交流)防災

事例 3 婦人会と**女子高生**

親に教えてもらうより、近所のおばさん、料理を通して防災意識の向上

地域防災を進めるNPOとして、減災の視点を持ちながら市民活動を包括的に進める事が、今後の災害NPO課題です。



# 安否メール・情報支援サイトによる ソーシャルビジネスの実情

---

- ・安否メール・安全・安心メールの運営  
三河地域の行政・消防を中心に、現在2万人の登録者
- ・地域の情報支援サイト  
市民活動支援サイト、市民協働の情報サイトとして、トヨタG、各市町村が利用、愛知県内約70%が利用。

NPOが行う、ソーシャルビジネスの傾向として、  
実費＋アルファで、運営が継続的にできる。

サービスの提供だけではなく、関わる人たちの意識も変える事

手法はビジネスだけれども、皆が必要である自分たちの仕組み  
であるという、気持で継続運営出来ているのが、他にない強み  
であると感じている。